

## 新型コロナウイルス感染症対策の基本方針を受けた学術大会の中止・延期に伴う専門医の単位に関する特別措置について

1、2020年2月26日に新型コロナウイルス感染症対策本部での総理発言を受けて、各地方会を始めとする学術集会の一部で中止・延期の措置を行っている。これらの中止・延期に伴い、本会の専門医の更新申請者と受験申請者に不都合が生じる可能性があります。

- 専門医の受験申請者の方は・・・学会発表の機会がなくなり前実績単位が不足する
- 専門医の更新申請者の方は・・・後実績単位が不足する

2、今回の中止・延期の措置を受けて、本会として専門医の受験者と更新者に不都合が生じないよう特例の配慮を行う必要があると考え、次の措置を行うこととしました。

### 【専門医の受験者への措置】

#### ① 地方会が中止になった場合

もし、抄録の発行を行うのであれば、その抄録の発行をもって前実績単位として申請可能とする。なお、抄録の発行を行わないようであれば、下記の「地方会が延期になった場合」の対応と同じ措置を行う。

※前実績単位の申請に必要なもの

申請時期	提出書類
専門医の受験申請期間	抄録の発行となったことが分かる抄録と自身の発表箇所

本対応を行う場合、対象者の中には2021年度以降の専門医受験者も含まれることが想定されるため、2021年度以降の専門医受験申請者にも有効とする。

#### ② 地方会が延期になった場合

発表予定（アクセプト済み）の演題を前実績単位として申請可能とする。後日に開催する地方会で発表した後に発表した実績を提出いただく。なお、実績を提出いただけない場合、当該学会発表の前実績単位は無効となる。そのため、受験資格を取り消す場合もある。

※前実績単位の申請に必要なもの

申請時期	提出書類
専門医の受験申請期間	発表予定としてアクセプトされたことが分かる資料(地方会からの返信と発表概要)
自身が発表した地方会の終了後速やかに	発表したことが分かる地方会の抄録と自身の発表箇所

③ 現地開催した地方会に参加できなかった場合 \*2020年9月11日 追記

COVID-19の影響により現地開催の地方会に出席できず予定していた演題の発表が出来ない場合、抄録の発行をもって「発表単位」として申請できることとする。

なお、この場合、COVID-19が原因で学会に出席できなかった旨を大会長あるいは発表者の所属施設の責任指導医に証明して頂き、受験申請または更新申請の際に抄録の他、同証明書も郵送すること。

\*発表予定であった内容を別の学会で発表しても、新たな発表単位としては認めない。

④ なお、上記については地方会以外の関連学会が中止・延期であっても同様の措置とする。

【**専門医の更新者への措置**】

- ① 2020年度の更新対象者については、地方会、関連学会の中止・延期に伴い後実績単位が足りないようであれば、それを理由とした専門医資格の延期申請を認める。

【**特例措置の有効期間について**】 \*2020年11月10日 追記

- ① 本特例措置は、2021年3月末をもって終了とする。

日本皮膚科学会理事長 天谷 雅行  
専門医制度委員会委員長 石河 晃  
専門医資格認定委員会委員長 佐山 浩二

# WEB 参加 理由書

年 月 日

## 1. 注意事項

- (1) 記入漏れや誤りがないようにしてください。
- (2) 署名人への連絡や手続きについては申請者本人が行ってください。
- (3) 本理由書は専門医受験申請または更新申請時に申請者本人から日皮会事務局に提出してください。  
なお、提出の際には、本理由書の他、該当する学術大会の抄録も併せて提出してください。
- (4) 申請者が大会長または施設責任者である場合、ご本人以外の第三者に署名をいただいでください。

## 2. 申請内容

以下①～⑤全てに記入のうえ専門医受験申請時または専門医更新申請時にその他の申請書に同封して提出してください。

日本皮膚科学会専門医資格認定委員会委員長 殿

下記学術大会に発表演題を登録していましたが、COVID-19（詳細は下記の理由欄参照）の影響により、現地ではなく WEB 形式にて当日参加することとなった旨を申請いたします。

① 参加予定 学会	例) 第100回北海道地方会
② 会員番号	
③ 氏 名	㊟
④ 連絡先 E-mail	
⑤ 理由 ※詳細をご記載 ください。	

上記の者が参加できなかったことを証明します。

※いずれかにチェックを入れて、自署にて署名ください。

署名人の所属：  学会大会長  発表者所属施設の責任者

署名人